

Arpilleras that Fly Around the World

講演 世界を翔るアルピジェラ

講師：酒井朋子先生(Tomoko Sakai;東北学院大学講師)

7月27日(土) 15:00~17:00 大島博光記念館ホール



「アルピジェラの共同作業所」1991年

今年はチリのアジェンデ社会主義政権が軍事クーデターで倒されて40年になります。チリ出身の人権活動家ロベルタ・バシックさんはヨーロッパやアメリカ、ラテンアメリカ、アフリカ等、世界各地で精力的にアルピジェラ展を開き、ピノチェトの軍事政権のもとでチリの女性たちが綴った苦難の体験、日常生活、抵抗の意志を伝え続けてきました。2010年10月に大阪で開かれたアルピジェラの展覧会(酒井朋子先生が企画)にゲスト・キュレーターとして参加され、本年2月には酒井朋子先生とともに大島博光記念館を訪れ、当記念館所蔵の作品を調査・分類し、その価値と保存、活用方法等を総括しました。その結実の第一歩として企画展「チリのキルト=アルピジェラに出会う」を5月から開催しています。

今回、関連イベントとして酒井朋子先生による講演会を行います。世界各地での展覧会の様子や人びとの反響、運動の広がりなどについてお聞き出来ると思います。ぜひご参加ください。

アルピジェラは、もともと民衆の暮らしを描くチリの伝統的なタペストリーでした。1973年にピノチェトによる独裁体制が始まると、ポブラシオン(貧困地区)の女性たちが、このアルピジェラの技法をもちいて自分たちの経験や社会の実態を表現していくようになります。行方不明になった家族について訴えるものや、貧困地区の生活を描くものなどで、どれも日々の生活と経験に根ざした社会的・政治的メッセージに満ちています。今回展示される作品は1980年代後半から1990年にかけて作成されており、独裁時代の政治暴力を忘れまいとする意志や、新しい時代への希望を感じさせます。(酒井朋子)

酒井朋子先生

東北学院大学教養学部講師、文化人類学・社会学。大阪大学特任助教だった2010年10月、アルピジェラの展覧会「抵抗を縫うーチリのキルトにおける触覚の物語」(於・大阪大学総合学術博物館、2010年10月12日~16日)をロベルタ・バシックさんをゲスト・キュレーターに招いて開催しました。

- 企画展 チリのキルト=アルピジェラに出会う Meeting Chilean Arpilleras
2013年 5月3日~10月31日

<関連イベント>

- 7月27日(土) 15:00
講演「世界を翔るアルピジェラ」'Arpilleras that Fly Around the World'
講師：酒井朋子先生(東北学院大学講師) Dr. Tomoko Sakai
- 8月25日(日) 15:00
ドキュメンタリー「パッチワークに願いを込めて」
(カナメディアプロダクション 1992年制作)
- 9月15日(日) 15:00
講演「アルピジェラとチリの女性たち」'Arpilleras and Chilean Women'
講師：高橋正明先生 Masaaki Takahashi
(元東京外国語大学教授、元チリ人民連帯日本委員会常任)

大島博光記念館

長野市松代町清野2567-1 TEL&FAX 026-278-1004

メール sonoko28@dia.janis.or.jp